

転任のあいさつの類句

異例の抜てき

氏は、いままでの計理の手腕と、工業簿記関係に明るいという卓抜な識見と実践力が認められて、ここに異例の抜てきを受け、関西支社の計理部長を命ぜられ、近日、赴任の途につかれることになりました。

私ども後輩にとって、このたびのご栄転は、心からお喜びを申し上げ、祝福する次第でございます。

栄転は偶然ではない

は、入社以来、ご自分の仕事に対する研究、努力は、他人の追随を許さないほど厳しいものがありました。そういう君にとって、今度のご栄転は、決して偶然ではなく、君の努力と研修の実りといえます。

君だけの才能とねばり強さがあれば、どこにいても人にひけをとることはありません。男一匹、堂々と君の道を歩まれんことを心よりのぞみます。

さらに尽くせ一杯の酒

この送別の宴をもって、しばらくは君に会うこともなくなるであろう。

いじょう ちやうう けいじん
渭城の長雨 軽塵をうるおし

きやくしやせいせい りゆうしよくあらた
客舎青育として柳色新なり

君に勤むさらに尽くせ一杯の酒

ようかん い こじん
西のかた陽関を出ずれば故人なからん

わが青春時代に憶えた詩だが、今の私の心境にぴったりといえる。君が新しい土地に赴任してしまえば、旧友もいないであろう。どうかこよい一夜、われわれとともに、別れの杯をくみかわしてくれたまえ。

明日からは、またお互いに新しい日がはじまるのである。おおいにがんばろうではないか。

君よ、さあ杯をとりたまえ。

島流しという社内の風評

このたびの君の転任については、傍系会社への転任であることから推して、「島流しはだれにきまるのだろう」といった噂を耳にして、私は唖然といたしました。私がこの送別会の席をかりて、特別にお話するのも、そういった誤解をとく気持からでございます。まったくこれは、けしからぬことでして、N産業の盛衰は、同時にわが社の問題であり、けっして先方の社員の立場を、軽々しく考えてなどはおりません。

君に転任の白羽の矢が立ったのは、君が学生時代から鉱物質の研究をされ、その方の造詣も深くまた事務のことにもあかるい点が、適当ではなからうかと、幹部の方々から、君を推す声が強くて、最適任者として選ばれたわけです。

N産業再建のための赴任なので、そうとうの苦勞を覚悟していただかねばなりません、それだけにやりがいのある仕事を与えられたのです。君、どうかがんばってきて下さい。

さあ、君のために、愉快的送別会にしようではありませんか。

限りない愛惜の情

さんが、このたび当社の最大出張所である。A出張所の所長にご栄転なさるとうかがい、いよいよお別れせねばならないのかと、限りない愛惜の情がわき断腸の思いでございます。しかし、この人事は、さんの人望のうえからも、人格、識見の点から考えましても当然のことというのが、われわれの意見であります。

気のはやい連中は、われわれもA出張所に転勤の仕事をしようかなどといっている者もおりますが、もちろんこれは、私的な感情で許されることではございませんし、そんな個人的に勝手なことはできません。しかし、さんをお慕いする、部内の者はみな、そんな思いでいっぱいなのです。

しかし、この際、われわれとしては、自肅自戒してご栄転のさんを、心からお見送りすることが、われわれのなすべきことであり、同時に君の喜ばれるところであろうかと存じます。